

常任理事会だより

山川智之

本稿では、前号で報告後、平成30年4月20日、5月19日、6月22日（6月はWeb会議）に開催された計3回の常任理事会の内容のうち主なものをお伝えするとともに、日本透析医会の主な活動についてご報告します。

1. 通常総会の開催について

5月20日、日本透析医会通常総会が開催されました。その内容と主な決定事項は本号に掲載のとおりです。今年も研修セミナーと同時開催とさせていただきましたが、多数のご出席をいただきありがとうございました。

2. 第23回透析保険審査委員懇談会について

第63回日本透析医学会学術集会の期間中の6月29日に、神戸におきまして、全国の透析関連の保険審査委員、支部長の先生などにご出席いただき、第23回透析保険審査委員懇談会が開催され、長時間にわたり活発な議論が行われました。例年お忙しいところご出席いただいた先生方には御礼申し上げます。詳細につきましては、12月発刊予定の日本透析医会雑誌33巻3号でご報告の予定です。

3. 第19回災害時情報ネットワーク会議について

第63回日本透析医学会学術集会開催期間中の6月29日に、神戸におきまして、第19回災害時情報ネットワーク会議を開催しました。特別講演には、さいたま赤十字病院の両宮守正先生に「日本透析医会埼玉県支部の設立まで」というテーマでお話頂きました。また、各地域の災害対策関係者に多数出席いただき、今年も活発な議論が行われました。ご多忙中参加していただきました先生方には厚く御礼申し上げます。なお、本会議において、これまでの経験に鑑み、災害時情報ネットワーク活動開始基準を震度5強以上から震度6弱とすることが承認されました。なお、今後も震度5強以下でも、状況によってはネットワーク活動を開始する場合があります。また、イリジウム衛星電話を災害時の情報伝達手段として、医会として管理してまいりましたが、維持費や有用性を総合的に鑑み、5月に契約解除したことを報告させて頂きました。

本会議の内容については、12月発刊予定の日本透析医会雑誌33巻3号でご報告させていただきます

ます。

4. 日本透析医会研修セミナーについて

平成30年5月20日（日）に日本透析医会総会と同時開催で、東京・ソラシティカンファレンスセンターにて、研修セミナー「透析医療における Current Topics 2018（東京開催）」を開催しました。305名と多数の方に参加頂きありがとうございました。

秋は例年通り地方開催となり、11月11日に仙台・江陽グランドホテルにおいて「今日の透析療法—抱える諸問題と解決への模索—」をテーマに、「透析医療における Current Topics 2018（仙台開催）」を開催します。

5. 平成30年7月豪雨災害について

7月10日現在、平成30年7月豪雨災害は、広島県、岡山県を中心に透析医療にも大きな被害をもたらしています。日本透析医会災害時情報ネットワークで情報収集し、行政とともに対応にあたっておりますが、透析施設の被害状況を鑑み、東日本大震災、熊本地震と同様、日本透析医会として支援金を募ることとしました。募金額、支援先等につきましては、今後ご報告させていただきます。